

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）
法人単位事業活動計算書

（自）平成30年4月1日 （至）平成31年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	5,558,328	3,540,318	2,018,010
	障害福祉サービス等事業収益	72,335,750	69,284,610	3,051,140
	経常経費寄附金収益	2,177,043	1,801,900	375,143
	その他の収益	821,004	6,000	815,004
	サービス活動収益計（１）	80,892,125	74,632,828	6,259,297
	費用			
	人件費	49,370,606	46,248,106	3,122,500
	事業費	7,507,023	6,842,347	664,676
	事務費	7,479,519	6,540,981	938,538
	就労支援事業費用	5,897,266	5,224,541	672,725
	授産事業費用	0	0	0
	減価償却費	5,022,561	5,284,350	-261,789
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-968,413	-1,278,579	310,166
	その他の費用	324	0	324
	サービス活動費用計（２）	74,308,886	68,861,746	5,447,140
	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）	6,583,239	5,771,082	812,157
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	1,092	406	686
	サービス活動外収益計（４）	1,092	406	686
	費用			
増減の部	サービス活動外費用計（５）	0	0	0
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）	1,092	406	686
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）		6,584,331	5,771,488	812,843
特別増減の部	収益			
	特別収益計（８）	0	0	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	43,960	-43,960
増減の部	特別費用計（９）	0	43,960	-43,960
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）	0	-43,960	43,960
当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）		6,584,331	5,727,528	856,803
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（１２）	75,402,034	70,182,780	5,219,254
	当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２）	81,986,365	75,910,308	6,076,057
	基本金取崩額（１４）	0	0	0
	その他の積立金取崩額（１５）	0	2,727,536	-2,727,536
	その他の積立金積立額（１６）	4,504,193	4,500,000	4,193
	次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６）	77,482,172	74,137,844	3,344,328